



広報

うまじ

第196号

平成12年12月1日発行



初めての村内中学校職場体験学習

地域ぐるみの教育

子どもに、馬路村の良さを十分に知ってもらうには、頭だけでなく、心と体を使った体験学習が必要です。とくに「労働体験」は身近な地域の仕事を見直し、地域の人との交流を深めるよい機会となります。

そして、地域の人と学校と家庭が、具体的な子どもたちの働きぶりを通して、「今時の中学生」の本当の姿を知り、子育てや地域ぐるみの教育について話し合う絶好のチャンスとなるはずです。

(関連記事は4～5ページ)

目次

特集	健康・スポーツに関する意識調査 --- ②③
教育	体験が子どもたちの「生きる力」を育む --- ④⑤
国際交流	にこにこにこら ----- ⑥
林業	21世紀の林業のために ---- ⑦
健康福祉	保健婦だよりほか ----- ⑧⑨
教養	馬路村の歴史と伝説ほか -- ⑩⑪
お知らせ	行政相談所だよりほか ---- ⑫⑬
	赤ちゃん万歳 ----- ⑭
	村のできごと・村内あちらこちら ---- ⑮

特集

体力・気力の衰えを感じる人が八割 —健康・スポーツに関する意識調査—

地域住民の健康・スポーツに関する意識調査とは

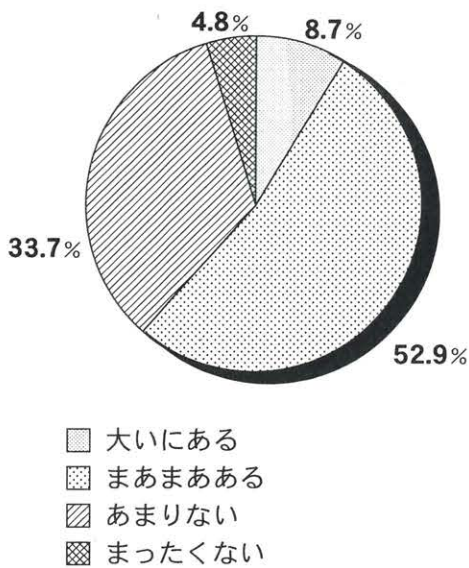
高知県では、平成十四年に「よさこい高知国体」が開催されます。開催するにあたり、県民の健康・スポーツに対する関心やニーズも高まってくるものと予想されます。この機会に、高知県が平成十一年に、県内全域（五十三市町村）で「健康・スポーツに関する意識調査」を実施しました。

この意識調査の結果は、高知県が今後の生涯スポーツの施策について、プランを策定するための基礎資料となります。

馬路村では

村内在住の二十歳以上で各十歳代ごとの男女を対象とし、意識調査を実施しました。男性五十二名、女性五十三名、合計百五名の方にご協力いただきました。

健康に関する不安の程度



健康状態や健康に関する意識

現在の健康状態について、「健康である」と答えた人の割合は八十六%でした。

しかし、健康に関する不安について、「不安がある」と答えた人の割合は六十二%と、過半数を超えています。

具体的な健康に関する不安として設問した項目は、精神的疲労、肉体的疲労、運動不足、肥満、生活習慣病の心配、身体の不調・病気、体力・気力の衰えでした。この七項目について、「感じる」と答えた人の割合はどの項目も六十%を越えています。特に体力・気力の衰えについては、八十三%でした。

また、健康習慣に関して設問した項目は、休養・睡眠、食事のバランス、規則正しい生活、定期的な健康診断、運動やスポーツ、気晴らしやストレス解消でした。この六項目について、「心がけている」と答えた人の割合はどの項目

も六十五%を越えています。特に食事のバランスについては、七十九%でした。

村民の運動・スポーツの実態

休日の主な余暇活動として、運動やスポーツをあげた人の割合は七%と低く、希望する主な自由時間の使い方として、運動やスポーツをあげた人の割合も低く、十%しかありませんでした。

しかし、運動やスポーツ活動の生活化のめやすとなる、週一回以上実施している人の割合は四十六%あり、反対に

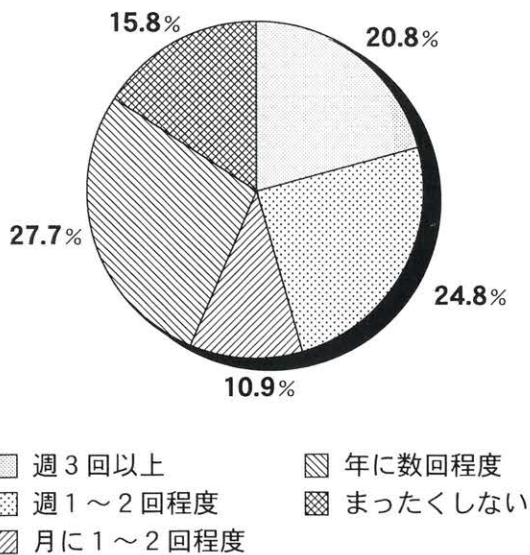
実施をしてなかった人は、十六%いました。

また、運動やスポーツを実施した人の中で、一回の運動時間は一時間程度の割合が一番多く三十六%でした。

運動やスポーツを実施している人で一番多かったものは、「散歩」、その他に主なものは「手軽な体操」、「スカッシュバレー・ソフトバレー」、「ウォーキング」でした。

運動やスポーツの好き嫌いには「自分でするのを見るのも好き」が過半数に近い割合で四十四%ありました。

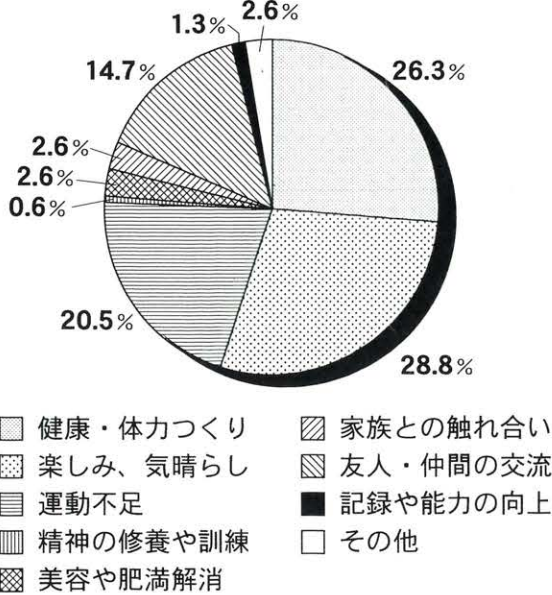
1年間の運動やスポーツの実施回数



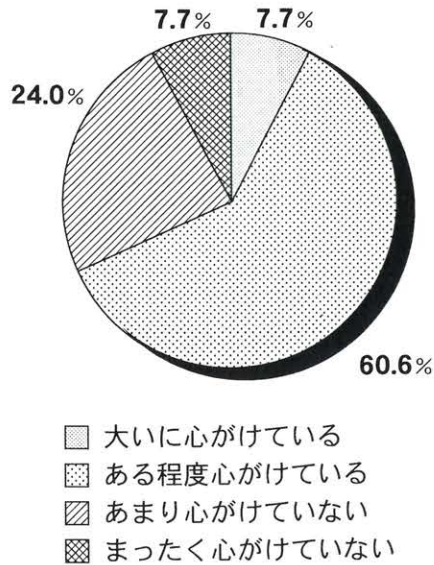
運動やスポーツをするよう

心がけている人85%(県平均61%)

運動やスポーツをする理由



運動やスポーツをする



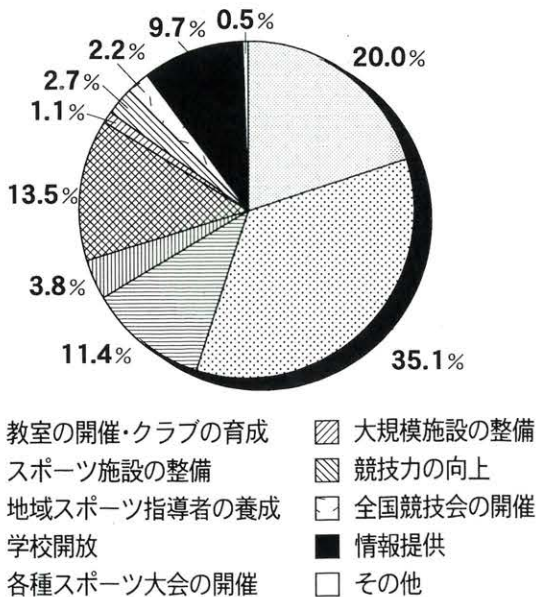
スポーツ施設の充実を望む声大

健康と運動・スポーツ

健康に関する不安があるためか、健康習慣についての心がけも同じように割合が多いたとが分かります。やはり健康の維持、増進のためには、日常生活における健康習慣の確立が大切であり、さまざまな心がけが必要となります。積極的な健康づくりに効果的である運動やスポーツの割合も多く、他の心がけと同じぐらい割合がありました。現在、運動やスポーツ活動の種目もますます多様化しています。調査結果から運動やスポーツをする理由として、健康・体力づくり、楽しみ、気晴らし、運動不足、友人・仲間の

交流が主であり、スポーツの多様な機能が徐々に定着していることがうかがえます。

県・市町村への要望



運動・スポーツに関する県・村への要望

施設・設備については、社会体育で一番利用が多い体育館、日常的に手軽に利用できる多目的広場、水泳プール、トレーニング室、広場や公園などの要望が多くあります。スポーツ振興の内容に関し

これからの運動・スポーツのニーズに対して

今回の調査で、運動・スポーツと健康に関する情報を八十三%の人が求めていることが分かりました。今後は村民のニーズをふまえて運動やスポーツ環境の整備に努めるとともに、きめ細かい情報提供を行うことが必要です。

では、スポーツ施設の整備、教室の開催・クラブの育成、各種スポーツ大会の開催、指導者の育成などとともに、情報提供の要望も多くあります。

教育

体験が子どもたちの
「生きる力」を育む



働

生徒の職場体験が

学校・地域・家庭をつなぐ

— 村内中学校職場体験学習 —

「どうして、勉強せないかんが？」子どもは大人によく聞く。学ぶことが、今の自分にどんな意味をなすのかわからないからだろう。職場体験を通して、子どもが学ぶことや働くことの意味を考えるきっかけになってほしい。

村内中学校の新しい取り組みとして、十一月九日・十日に馬路中学校が、同月十四日・十五日には魚梁瀬中学校が、「馬路村の良さを十分に知る」という観点に立って、それぞれの地域に密着した職場体験学習を実施しました。

馬路はJA柚子加工場など十一カ所で、魚梁瀬は魚梁瀬木材など五カ所で、生徒がそれぞれの職場の人にお世話になりながら、いっしょけんめい仕事をしていました。保護者も、子どもの様子が気になるらしく、昼休みに仕事場をのぞきに行く姿が見かけられました。

学校の先生たちも、地域へ出て、子どもの様子を見なが

ら、地域の人たちと話をするチャンスがずいぶんあったことでしょう。

職場体験は、子どもにプラスになるばかりではなく、大人にも、具体的な子どもの姿を通して、学校・地域・家庭に共通の話題ができ、地域ぐるみで、子どもを見守るきっかけになります。

十一月十七日の夜さっそく馬路中学校の先生と職場体験でお世話になった地域の人たちとの反省会と交流会があり、成果やさまざまな課題が浮かび上がってきました。この会を保護者も交えて実施すれば、家庭教育にもいい影響を与えるのではないかと思います。



職場の人に仕事内容を教えてもらって、汗を流して働くことの大変さを実感できる。そして、職場の人だけでなく、地域の人たちからも「がんばりうねえ」と声をかけられることで、人の優しさを実感することができる

● 職場体験学習 ●

阪神淡路大震災の後遺症からの立ち直りや、神戸市須磨区での痛ましい事件等の大きな課題を背負った兵庫県では、子どもの「生きる力」をはぐくむため数日間学校を離れて、地域や自然の中で主体的にさまざま

な体験をする「トライやるウィーク」を実施。この取り組みが、学校・地域・家庭の三者が一体となって子どもたちを見守ろうという活動として全国的な注目を浴び、各地に広まってきている。



優

いろいろな体験活動が増えてきた。その中で、子どもたちが地域のいろいろな人の優しさや知恵を感じることができて、心が温かくなって、がんばるエネルギーをもらえるようなそんな体験であってほしい。

子どもたちの自立の精神やコミュニケーション能力を高めるため、十月二十九日から二泊三日の日程で、馬路村文化財・天保の家、嘉永の家で共同自炊生活をしたが、

生活・通学合宿体験

から学校へ通う、生活体験通学合宿を実施しました。村内小学校六年生の希望者六名が参加し、羽釜のご飯焚きや、囲炉裏での料理作りなど体験しました。メニューは乾玉見さん、小松艶子さんが昔風のものを考えてくれました。

朝五時半起床、テレビのない生活でしたが、

た。



絵本を見る目がきらきら輝く

今年も、子ども読書年ということもあって、十月十七日から二週間、火曜日と金曜日に、馬路地区の保育園年中組から小学校三年生までの親子を対象に親子読書教室を開きました。

親子読書教室

初日に、馬路小学校の安養寺淑江先生に、読書の大切さについて話してもらい、「泣いた赤鬼」の読み聞かせをしてもらいました。二日目以降は、朗読ボランティアをして大野奈留子さん（相名）、国際交流員のニコラさん、田野町のボランティアのグループ「お話しポケッタ」の方々に、楽しい読み聞かせをしてもらいました。次は、魚梁瀬でも実施の予定です。

良き本との出会いは、人格の骨組みを作り良き体験は、それをとりまく血肉となる



いろいろ囲んで楽しいおしゃべり

天狗森から海が見えたよ！

―ネイチャーキッズ・自然探険隊―

十一月十九日に、天狗森に登りました。連日不安定な天気がうそのような秋晴れになりました。小人数でしたが、小学校一年生から年配の方まで幅広い年齢層の方が参加し、楽しくゆつくり登りました。

魚梁瀬山の案内人クラブの萩野轟さん、栢山逸男さん、清岡博基さんが案内をしてくれました。

登るにつれて、幾重にも連なる山々の緑の中に、魚梁瀬が小さくなっていきます。

頂上からは、はるか遠くに馬路地区が見え、学校の体育館の屋根や日浦の野木場あとも見えました。安田町とその向こうにきらきら光る太平洋も見えました。次は、どの山に登ろうか考えています。



馬路村の皆様、

お元気ですか にこ にこ

MERRY CHRISTMAS



国際交流員 ニコラ・フィンクル さん
(ニュージーランド出身)

また、1年がすぐ過ぎました。夏がついこの間終わったばかりなのに、もう冬が来ました。日一日と寒くなるにつれて、ニュージーランドで暖かく、日が長い季節を楽しんでいる家族をうらやましがっています。

「クリスマスはニュージーランドの夏に行われている」と馬路村の人に言うと、「じゃあ、サンタはサーフボードに乗ってくるの?」と聞かれたことが何回もあります。その時まで、サンタはどこでも同じ服装で当たり前と思っていましたが、その質問を聞くと、やはり日本人は論理的な考え方を持っていると思いました。

NZでは、サンタは大きな黒いブーツと分厚い赤いスーツを着るのは変だといっさい思いませんでした。た

だ、小さいときに、夏なのに、どうしてサンタは
あります。すると、母は、
は寒くて、南半球は風が
うなのよ。」と答えてくれました。

大学生のときには、私の
したが、暑すぎて、2時間ぐら
りませんでした。その時、クリスマス
としました。

このようにサンタの衣服は、ニュージーランドの
クリスマスの料理はあっていました。伝統的なクリ
ンといません。そのかわり、いちごとアイスクリーム
多いのです。私の家庭では、七面鳥を食べましたが、スライスハムの
肉を、サラダといっしょにパンの上に出して食べました。

日本と違って、NZではクリスマスは国の休みになっています。実は、クリスマスは、NZでは一番大切に
守っている休みです。クリスマスイブには店は遅くまであいていますが、クリスマスの日、ゴーストタウン
に見えるかもしれません。12月25日、26日は、ホテル、24時間営業のガソリンスタンド、マクドナルド
以外は、何でも閉まっています。家族や親戚があまりいない人には寂しい期間になります。

夏は疑いもなく、NZのベストの季節です。だからクリスマスとお正月にかけて、家族、友達と一緒に過ご
すために2~3週間の休みを取ります。ところが日本では初め、2~3日間の休みをとるのが普通だと聞いて、
びっくりしました。

クリスマスは、家族で、正月は友達といっしょに過ごす習慣は、日本人にとってはちょっとおがしいでしょう。
NZでは、クリスマスイブは教会に行き、イエスの誕生日を祝う特別なサービスに出席します。日本ではロ
マンチック・バレンタインティミたいなカップルの日となり、本当にびっくりしました。

では、今世紀最後のクリスマスと21世紀最初のお正月をそれぞれ皆さんお好みの過ごし方で、とても楽し
く心の温かい時間となりますように。

その服装をするのが、母に尋ねたことが
「サンタは夜中に走るでしょう。北半球
涼しいので、世界中どこでもそのかつこ

友達がサンタのアルバイトをしま
で次のサンタと交替しなければな
はニュージーランドに向いてないな

夏にあっていませんでしたが、
スマス料理を食べる人はほと
のデザートを食べる家庭が
ような薄切りの冷たい



二十一世紀の林業のために

第八回山師達人選手権大会 第二回女性山師達人選手権大会

役場産業建設課 高屋敷 元 木

平成十二年十二月五日、馬路村林業青年クラブ主催の第八回山師達人選手権大会及び第二回女性山師達人選手権大会が魚梁瀬丸山公園で開催されました。当日は、曇りがちの天気でしたが、幸い雨は降らず、選手、応援の人など約二百人が秋の一日を楽しみました。

【予選】

男性部門の予選は、①直径三十cmの杉丸太を三人で早切りする「木挽き競争」、②重さ約二十kgの材木を遠くに飛ばす「丸太投げ」、③合計百kgの二本の丸太をロープで引く「輓馬」、④杉の立木を高さ六mまで登る「杉の実取り競争」の四種目で決勝進出の四チームを決めます。

予選の結果は、四大会連続三位の「五百蔵組」が一位、四連覇のかかる「なかよしクラブ」が二位、吾北村から参加の「国友行け行け」と大豊町の「とされいほく」が同点

【決勝】

決勝は、男性部門では、予選より太い直径四十cmの丸太の二箇所を三人で切る「木挽き競争」と杉の立木を決められた目標めがけて倒す「山師達人競争」の二種目です。ここで、「国友行け行け」は、美人監督の檄が効いたか、二種目とも一位となり、大逆転で優勝しました。

女性部門の決勝は、杉の立木の高さ三mまで登る「杉の実取り競争」の一種目です。女性部門では、チームメイトが、登る人のおしりを支えることができます。

結果は、チームワークに勝る「ウーマンパワー」が勝ち、予選一位の「ごっくんガールズ」をかわし、優勝しました。

【シンポジウム】

競技終了後は、コミュニティセンター馬路で今回の試みである「林業を語るシンポジウム」を開催しました。コーディネーター、パネラーが中心となり、約四十名の参加者が吾川村、梶原町そして我が村の林業の現状と課題について語り合いました。

【二十一世紀に向けて】

この大会は、「基幹産業の林業を絶やすことはできない」を合い言葉に発足した馬路村林業青年クラブが、少しでも山の仕事を知ってもらいたいと始めたもので、今年で八年目となりました。昨年は女性部門を新設し、今年にはシンポジウムを開催しました。

今後ますます発展し、来るべき二十一世紀に向けて馬路村から元気を発信し続けることとしています。



遠くに飛ばせ「丸太投げ競争」

第8回山師達人選手権大会結果

順位	チーム名
1	国友行け行け (吾北村)
2	五百蔵組 (五百蔵浩二、渡辺素巳、谷山 守)
3	なかよしクラブ (島田朝彰、竹内 仁、中山任鋭、小松博彦)
4	とされいほく (大豊町)
5	ゆうりんタヌキ (梶原町)
6	ゆうりんヤマネ (梶原町)
7	ゆうりんキツツキ (梶原町)
8	ヤナセ青年団 (澤頭 孝、藤岡義生、入江賢治)
9	エコアス馬路村 (尾木園治、佐藤 智、遠藤真言、井上博文)
10	魚梁瀬事務所 (中野 亨、福吉修二、鷹野孝司、大野登央)

第2回女性山師達人選手権大会結果

順位	チーム名
1	ウーマンパワー (島田智香、山崎一美、中野文子、梶原朝香)
2	ごっくんガールズ (乾 栄美、小松園美、笹岡千秋)
3	ゆずはら風車 (梶原町)
4	スズラン・ギャル (藤戸佐織、森本絵里、松澤浩実、安田真由美)



初めてのシンポジウムも大成功



サルモびっくり名人芸「杉の実取り競争」



女性山師のパワー全開「木挽き競争」

住みなれた馬路村で いつまでも暮らしつづけるために

＝ 高齢者保健福祉計画を策定しました ＝

○高齢者保健福祉計画とは

近年の急速な高齢化に伴い、介護が必要な高齢者が増加するとともに、介護の長期化や重度化が進んでおり、この問題は老後の最大の不安要因となっております。これらのことを考え、高齢化社会対策を村政の重要課題の一つとして位置づけ、少子・高齢化の進展、地域社会の変化、介護保険制度の導入等に対応するための計画で、馬路村の高齢者保健福祉サービス施策の指針となるものです。

○計画の基本目標は

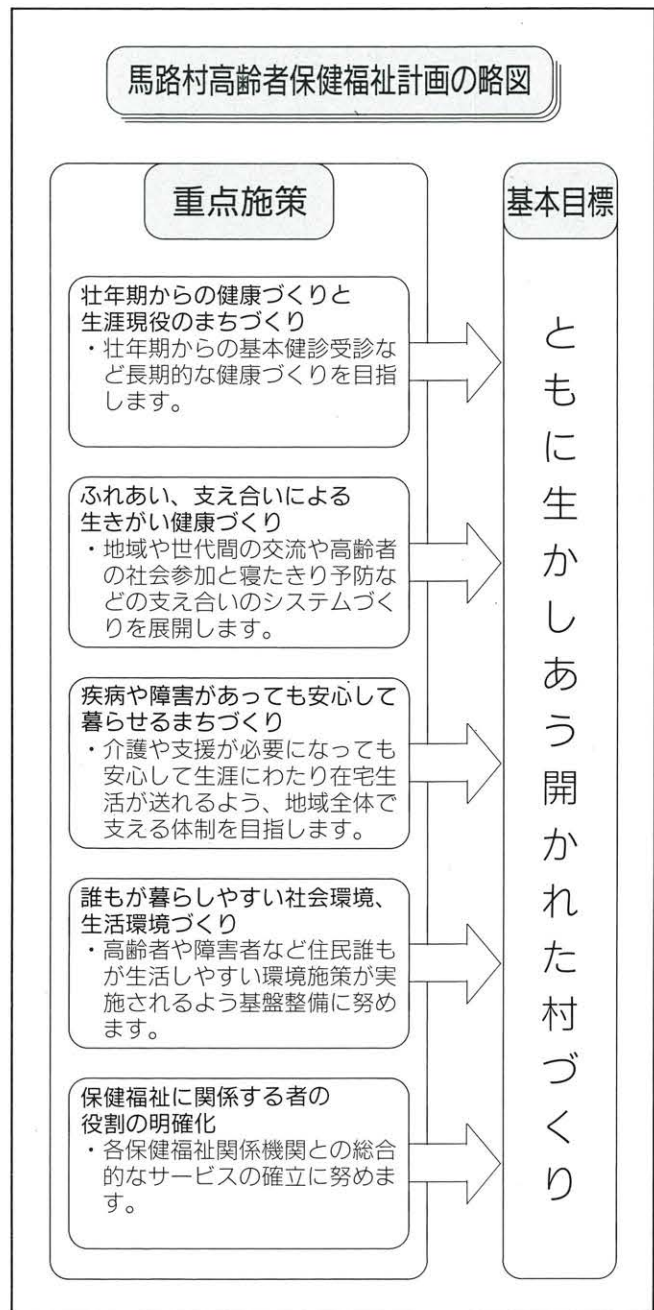
目標は「ともに生かしあう開かれた村づくり」（自然を愛し、人間を愛し、お互いを助け合い、励まし合い、明日を担う少年に夢と希望を与え、本村のために尊い経験を積まれたお年寄りに、老後を安心して楽しめる保健や福祉の充実した村）を掲げ、その目標に向かって取り組んでいきます。

○計画期間は

計画は、平成12年度を初年度とし、平成16年度までの5カ年間とします。また、村の総合計画や介護保険事業計画や障害者計画との整合性を図りながら社会経済情勢の変化や国・県の行政施策の動向等により、必要に応じて見直しを行います。

○計画の重点施策は

計画では、基本目標を目指した、5つの重点施策を実施するためのシステムの構築に取り組めます。



※ 詳しく知りたい方は馬路村役場健康福祉課までお問い合わせ下さい。

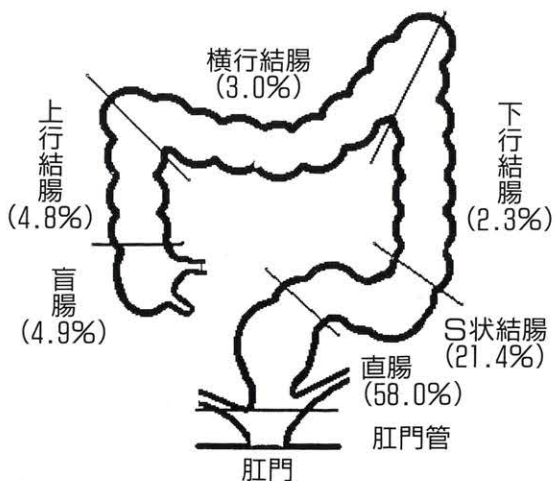
**保健婦
だより**

あなたは、いつ大腸がん検診を受けましたか

— 気軽に手軽な検査で大腸がん発見 —

大腸がんは非常なペースで増え続けています。増えているのは、食生活が欧風化し、繊維質を多く含む穀類、いも、豆、海草などをあまり食べなくなり、便秘を予防することができなくなってきたためと考えられています。

大腸の部位とがん発生頻度(%)



大腸がんの初期症状は、便に血が混じることです。肉眼で見えないほどの少量の出血でも「便潜血反応検査」で発見できます。

検査方法は、2日間の便を決められた容器に取って、出してもらうだけです。

平成12年度 馬路村の大腸がん検診のご案内

	日	時	場 所
容器配付	平成13年1月26日(金)	午前8時30分～午後5時00分	役場健康福祉課 及び 魚梁瀬支所
容器回収	平成13年1月29日(月)	午前8時30分～午後5時00分	魚梁瀬支所
	平成13年1月30日(火)	午前8時30分～午前9時30分	魚梁瀬支所
		午前8時30分～午前10時00分	役場健康福祉課

※血便や腹痛、残便感、便が細くなる、下痢や便秘が交互に起こるなどの自覚症状がある方は、医療機関で受診することを勧めます。

老人保健制度についてのお知らせ

老人保健の対象となる方

70歳以上（一定の障害をもつ方は65歳）の方は、老人保健制度による医療の対象となります。

対象となるとき

70歳になった月の翌月から対象になります。
ただし、1日が誕生日の人はその月からになります。

《例》

- 11月8日が誕生日 → 12月から
- 11月1日が誕生日 → 11月から

届け出

誕生日を迎えたら、14日以内に役場 老人保健係に届け出て下さい。
(印鑑と、加入している保険証をご持参下さい。)

お医者さんにかかるとき

保険証・医療受給者証・健康手帳を医療機関の窓口で提示して下さい。

馬路村の
歴史と
伝説



〈通算第90回〉

馬路公民館長 山中、巖

魚梁瀬・馬路の官林の
藩政末期から明治初期
にかけての状況 (1)

今までに主として、馬路村の山林・林業の歴史的な事柄を書いてきましたが、藩政時代から明治初期（旧藩時代）の官林（国有林）の状況を記した古文書は見当りませんでした。ただ数年前、藤田克三さんの紀行文を読み、他の古文書に見られない貴重な見聞記として心から離れませんでした。今ここに紹介できますことを嬉しく思います。

で二夜を過ごしたようです。翌日は早朝に出発し、甚吉が森と大鋸小屋番所跡との中間附近の県境に達して、東に進み、番所跡（現在では通称「お化け杉」と呼ばれる中川と東川との分岐点）に着き、以降は、中川・東川の分水嶺を一路南に下り、魚梁瀬部落に到着したもようです。記述によれば、すでに当時は、番所跡も朽ちはて、番所への往來の道もなく、道なき道をかきわけて行ったことと想像されます。さて、これから藤田さんの本論を記してみます。本論（抜粋して記す）

がひどかったために、ほとんどの山は「せむしの背中」のように、はげ山となっているが、阿波・讃岐・伊予の国境いに接している、いわゆる北山続きには、良林が非常に多く、日本国内で、二・三番に位置づけられると言っても、褒めすぎではないと思われる。ここに私が、曾て四国の山々をめぐる歩いた手記があるので、その写しを皆様に読んでいただきたい。

私は土佐の魚梁瀬の官林に行ってみたくて、七月のある日、阿波の国の北川駅に宿泊した。そこは海部郡の西南の隅に在って、四方の山々は険しく立ちふさがっている。ここは那賀川の上流で、南川と北川に分かれている。北川を上って行くと川は狭く、崖は高く、かざら橋を架けて通っている。ここで地図を開いて見ると、土佐の魚梁瀬に近いので、村の老人に聞くと「ここから山を越えて魚梁瀬へ行った人は今までは居ない」との話であった。

翌朝早く、一人の道案内を雇い、いくつもの峰を越え、深い溪谷を渉りながら行った。三里くらい行くと人のたく煙が見えて来た。そこは折宇村の「宇井の内」と言うところ

馬路村歌壇

棧のなき障子となりしは何時からか
年輪重ねし古障子貼る

安子

湧き水が音たててどばしる池の縁に
濡れてすすしき秋海棠の花

源治郎

石かげの弁当近くになく烏
かけ竿おきて二羽を追いたり

佐由里

たおやかに組まれし稲架に西日さす
この風景も貴重となりぬ

佳子

休耕の田に名も知らぬ草しげり
佇む翁の背に夕日射す

久子

共同募金に廻り始めて十余年
今年最後の寄付を戴く

雅子

月の夜に踏めども踏めず我が影を
呻吟しつ夢いまだ醒めず

千恵子

雨の夜の山道遠し草むらに
子鹿がひとつライト見て立つ

満

賑わいし営林署は遙かにて
四人となれる馬路支所の秋

潔子

一族を村を支えし従兄逝く
桜の大樹のごときその生

いわお

で、戸数は八軒で五十人が住んでいるとのことだった。楮で作った藍色の着特を着て、山畑を耕している。この戸長の丸山袈裟蔵に頼んで猟師の国蔵という老人を雇った。国蔵が言うには「ここから西南三、四里ほどのところに伐木をしている者が居て、そこには塩や米の貯えがあるので、行つて見ましよう」と。さっそく行くことにした。

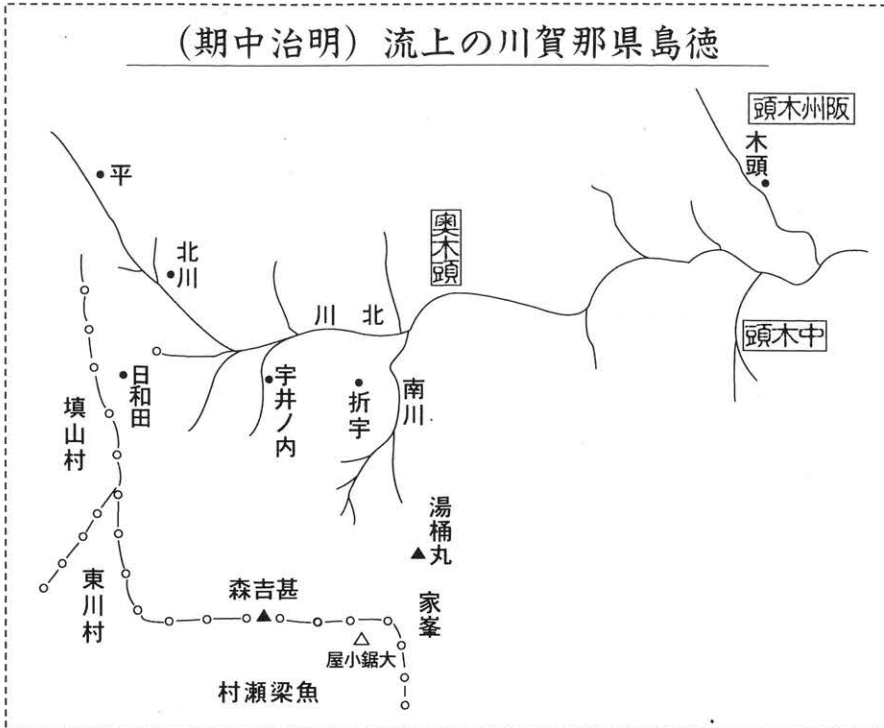
再び高い峰々を登り、深く切れこんだ溪谷を下り、日暮れどきに、やつと南川の上流、湯桶谷に着いた。そこに小さな柚小屋が建てられていて、柚が二人、飯を炊き、アメゴを焼いて我々を慰勞してくれた。湿った霧が衣服をぬらし、冷気が身体をつつて寒く、一晩中、炉の火を絶やすことができないほどであった。山朝早く小屋を出発した。山は険しく切り立って、よじ登り、つた・かずらが繁り、まつわりつき、細い径は無くなっていたり、また、わずかに通れるほどに荒れはてていた。所どころに、杉の良木があったが、天然木の民有林なので濫伐にあつて僅かに残っているものであつた。約一里半くらい登ると、峰の頂上に着いた。そこは、土佐と阿波の国

境であつた。右の方は魚梁瀬の官林である。峰の頂上を東南に歩くこと一里ばかりで鋸小屋（大鋸小屋か）に着いた。国蔵が「一か所指をさしたところは、土佐藩の御番所があつたところである」と言う。見れば、すでに柱は折れ、屋根は落ちて、茅と雑草に埋もれていた。

(敬称略) つづく

注一、「魚梁瀬千本山保護林」からの掲載引用については、高知営林局の許可を戴いて記すものです。作者が阿波から、魚梁瀬山へ行つたのは、明治初期(年はわからない)で、地図は、明治中期に出版されたものを使用した。ご了承下さい。(主として阿波の地図)

(期中治明) 流上の川賀那県島徳



馬路村俳壇

宅急便金木犀の香をまとい

秋時雨お寺に並ぶシルバーカー

仲秋やピルの谷間に星を見て
わが居間の更待月に戸を開けて

(更待月：陰曆八月二十日夜の月)

障子貼ることに一日収めけり
運動会親の出番の多き村

敬老会友と話すは惚けんこと
峡の道どちら向いても青柚の香

デイ・サービスの車来ている金木犀
紫蘇の花父祖の拓きし荒畑

秋深し一人歩きの一人ごと
障子はる心素直になつており

名も知らぬ秋草そつとしゃがみ込み
木犀の香りを追つて裏道路

ビタミン剤あれこれ飲んで秋思かな
兵たりし頃憶い出す千振粉

千鶴子

喜美栄

安子

雅子

佳江

清子

千恵子

いわお

注、このたび、馬路出身、高知市在住の山下千恵子(旧姓小松)さんから玉稿をいただきました。高知詩壇で、この人ありと知られ、短歌もたしなむ方です。俳句は、はじめてのようです。

馬路温泉

「鯨のまな板」?

—馬路温泉に木の香り—



「お母さん、このまな板やったら鯨も料理できるね。……馬路温泉のロビーに九月より登場した、天然魚梁瀬杉の一枚板。二五〇年はたっているそのテーブルを目にした子どもは、特大のまな板に見えたようです。馬路温泉へ来館したお客様は、その大きなテーブルの前にだれもが目を輝かせてくれます。「えいねえ。この言葉

を何度も聞きますが、全くあきません。そのたび、にこにこしているフロントマンです。杉の馬路村として、村外のお客様には絶好の宣伝になっています。村内の方でまだ目にされていなければ、ぜひ一度見に来て下さい。鯨のまな板を……

馬路温泉 林 義人

芸術 土佐寒蘭品評会

十一月十二日に、本年度の馬路村寒蘭品評会が七十七鉢の出品により、馬路村交流センターで行われました。入賞された方々は、次のとおりです。

- 総合優勝
小松良重(鷺羽)
馬路村村長賞
岩城安夫(青)

- 馬路村教育長賞
小松良重(照月)
村議会議長賞
岩城安夫(白鳥)
農協組合長賞
小松良重(桃紅)
文化推進協議会長賞
安養寺 仁(赤帝)



行政相談所だより(2)

総務庁行政相談委員
二宅哲男

最近特に多い
隣り合った
土地の問題について

『境界と所有権の範囲』

境界とは、ある地番を付された一筆の土地と、これに隣接する他の地番を付された一筆の土地とを区画する線をいい、筆界といわれることもあります。土地は、境界で区画され、地番を付されて所有権の対象となりますから、境界は、所有権の範囲と一致するのが普通です。しかし、一筆の土地の一部についての売買が可能であるように、境界は、所有権の範囲と常に一致するわけではありません。また、私人は、分筆・合筆はできますが、境界そのものを動かすことはできません。境界は私的所有権とは別の公法上のものだからです。

年末年始における診療所及び清掃業務のお知らせ

区分	12/28	29	30	31	1/1	2	3	4	5
	木	金	土	日	月	火	水	木	金
診療所	馬路 午前 午後	馬路 休診	← 休診 →				馬路 魚梁瀬	馬路 魚梁瀬	馬路 魚梁瀬
清掃業務	馬路	魚梁瀬	馬路	← 休み →		魚梁瀬	馬路	魚梁瀬	

自衛隊生徒募集

防衛庁では、少年自衛官（自衛隊生徒）を募集しています。

◎ 募集期間

平成12年11月6日～平成13年1月5日

◎ 資格

中学校卒業（卒業見込み）17歳未満の男子

◎ 試験日

平成13年1月7日（日）高知市

詳しくは、

自衛隊安芸募集事務所（電話0887-35-2749）

までお問い合わせ下さい。

中芸広域連合からのお知らせ

中芸広域連合介護サービス課では、介護に関する素朴な疑問や相談にお答えするために、『介護保険なんでもフリーダイヤル（無料）』を設置しました。日頃、介護や介護保険に対して困っていることや、お悩みのある方はどのような内容でもかまいませんので、介護を受けている方も・介護をされている方も御気軽にご連絡ください。

※相談者の名前等の秘密は守られます。

【介護なんでもフリーダイヤル電話番号】

0120-67-1266

相談受付日…月曜日～金曜日
（午前9時～午後4時）※祝日は休みです

高知県最低賃金改定のお知らせ

高知県内で事業を営む使用者及びその事業所で働く常用・臨時・パートなどすべての労働者に適用される高知県最低賃金（平成12年9月30日まで 日額4,807円 時間額601円）が、次のとおり改定されました。

日 額	4,845円
時 間 額	606円
効力発生日	平成12年10月1日

※ 最低賃金には ①精皆勤手当、通勤手当、家族手当 ②時間外、休日労働等割増賃金 ③臨時に支払われる賃金は算入されません。

なお、最低賃金には高知県最低賃金のほか産業別最低賃金が定められており、高い方の最低賃金額以上を支払わなくてはなりません（産業別最低賃金は現在改定審議中）。

高知労働局 労働基準監督署

緊張した面持ちで表彰状や楯を受け取っている姿が印象的でした。また、魚梁瀬小・中PTAが、「日本PTA全国協議会会長表彰」を受賞。保護者全世帯が参加し、隔月で実施しているPTA定例会。会員が一丸となり、学校や



魚梁瀬小学校のホールで表彰式の後皆そろうて記念撮影

「ふるさとを見つめ、自ら考え行動する子どもを育てる」を目標として、地域の特性を生かした活動を取り入れている魚梁瀬小学校が「豊かな心を育む学校環境づくり奨励賞」を受賞。十一月二日に魚梁瀬小学校のホールで、高知県教育委員会の方々を迎え、表彰式が行われました。上級生が緊張した面持ちで表彰状や楯を受け取っている姿が印象的でした。また、魚梁瀬小・中PTAが、「日本PTA全国協議会会長表彰」を受賞。保護者全世帯が参加し、隔月で実施しているPTA定例会。会員が一丸となり、学校や

「ふるさとを見つめ、自ら考え行動する子どもを育てる」を目標として、地域の特性を生かした活動を取り入れている魚梁瀬小学校が「豊かな心を育む学校環境づくり奨励賞」を受賞。十一月二日に魚梁瀬小学校のホールで、高知県教育委員会の方々を迎え、表彰式が行われました。上級生が緊張した面持ちで表彰状や楯を受け取っている姿が印象的でした。また、魚梁瀬小・中PTAが、「日本PTA全国協議会会長表彰」を受賞。保護者全世帯が参加し、隔月で実施しているPTA定例会。会員が一丸となり、学校や

地域行事へ協力し、「山の学校留學制度」などの事業を推進・運営、現在、九家族三十四名の留學家族を受け入れて、地域活性化に大変貢献しているなどの理由で受賞しました。どちらも、学校・家庭・地域の連携があつてこそその受賞で、二重の大きな喜びとなりました。

魚梁瀬小・中に二重のよろこび

●魚梁瀬小・中PTA
日本PTA協議会会長表彰

●魚梁瀬小学校
豊かな心を育む学校環境づくり奨励賞

赤ちゃん万歳

—パパ・ママといっしょ—



下田 祥子 ちゃん (相名)

平成11年8月6日生

(保護者 下田博之・佳代さん)

こんにちは、私は下田祥子です。十六歳・十四歳の年の離れたお姉ちゃんたちの後を追いかけてチョコチョコ走りまわっています。おじいちゃん、おばあちゃんも大好きで、ときどき、お散歩につれて行ってもらいます。家の中で、いろんな物をかたづけして、後でお母さん、お父さんがさがしまわっていることもあります。これからどうぞ、よろしくお願いします。



千葉 純里 ちゃん (日浦)

平成11年7月15日生

(保護者 千葉善信・小百合さん)

わたしは、ジュンリといいます。今好きなことは、かーちゃんといっしょに散歩です。いっしょに歩くようになったのでとてもうれしです。好きな所は岩城組の大きい犬と営林事務所の小さい犬です。それから、家の前におんちゃんやおばちゃんがいいたら、「オーイ」と呼ぶことです。ねーちゃんに先をこされないように急いで玄関へ行きます。おんちゃんやおばちゃんも「オーイ」とお返事してくれるので大好きです。



久保 晴美 ちゃん (影)

平成11年11月8日生

(保護者 久保啓二・恭子さん)

こんにちは晴美です。両親の期待どおりの女の子ですが、髪も短いし体も丈夫で、よく男の子と間違われます。朝も早起きで、お父さんのお見送りのバイバイもちゃんとするし、昼間はおばあちゃんと散歩したり、とっても良い子でみんなの帰りを待っています。「はるみちゃんは小さいき怒ったらいかん」と言ってくれた恭也兄ちゃんと、笑いながら私を押さえつけて戦いをして遊んでくれる誠也兄ちゃんの間で、たくましく育っています。



南木 優斗 くん (影)

平成11年8月10日生

(保護者 南木康徳・成子さん)

ハイ、ぼく優斗です。毎日隼貴兄ちゃんにかわいがられて、スクスク育っています。最近パパとママがぼくを見ながらこそ言っていること知ってる？「優斗は隼貴とちよつとちがうな、だいぶわるさぞ」だって。しょうがないよね。みんながぼくを甘やかすんやもん。何だってぼくが一番やろ？けんどもうちよつと大きくなったら、おりこうになるさね。それまで待ちよつてヨ。

村内あちらこちら



10月12日 魚梁瀬はし拳大会



10月13・14日 魚梁瀬神祭



10月15日 馬路地区村民運動会



11月8日 村内教育交流会



11月21日 ブレーメンの音楽会

村のできごと

《10月》

- 10日 馬路地区スカッシュバレーボール大会（～12日）
- 12日 魚梁瀬はし拳大会
- 13日 魚梁瀬神祭（～14日）
- 15日 馬路地区村民運動会
- 21日 ふるさと祭り（～23日）
- 22日 魚梁瀬地区村民運動会

《11月》

- 3日 馬路婦人会ふれあい運動会
- 5日 第8回山師達人選手権大会
- 8日 村内教育交流会
- 9日 馬路中学校全体職場体験（～10日）
- 12日 土佐寒蘭品評会
- 13日 エコアス馬路村臨時株主総会
- 14日 魚梁瀬中学校職業体験学習（～15日）
魚梁瀬地区秋季スカッシュバレーボール大会（～15日）
- 21日 ブレーメンの音楽会
- 28日 村内中学校弁論大会

ご冥福をお祈りします

清岡 祇信	五味 一明	五味 弼	氏名
男	男	男	性別
69	58	91	年齢
12・11・14	12・11・1	12・10・9	死亡年月日
清岡祇信	五味一明	五味隆仁	世帯主
本人	本人	父の父	続柄
日浦	朝日出	影	地区

島岡 侑正	笹岡 季珠	子ども
男	男	性別
雅志	和仁	父
真奈美	和代	母
12・10・25	12・9・11	生年月日
東川	朝日出	地区

ご出生おめでとうございます

12月・1月 むらの行事予定

日	月	12月	日	月	1月
1	金		①	月	魚梁瀬地区体育始め 元旦
2	土	馬路地区熊野神社秋の例大祭 (神楽・相撲)	2	火	新春走り初めピットリタイムレース (馬路) 成人式
3	日		3	水	
4	月		4	木	村内保育始め
5	火		5	金	
6	水	生活発表会 (馬路保育所) 人権相談 (就業改善センター) 10:00~15:00	6	土	
7	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00	7	日	
8	金		⑧	月	成人の日
9	土	第28回村文化祭 村内芸能発表会 13:30~ (就業改善センター)	9	火	小・中学校始業式
10	日		10	水	
11	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00	11	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
12	火		12	金	3歳児健診 (安田町保健センター) 13:00~13:30受付
13	水		13	土	
14	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 性教育講演会 (就業改善センター) 19:00~	14	日	
15	金		15	月	魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00
16	土	魚梁瀬小・中学校校内マラソン大会	16	火	乳幼児健診 (交流センター) 13:00~受付
17	日		17	水	巡回図書
18	月		18	木	
19	火		19	金	
20	水	引き取り犬・猫収集日 巡回図書	20	土	クリスマス発表会 (魚梁瀬保育所) 年末年始の交通安全運動 (~1/9)
21	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	21	日	
22	金		22	月	
⑳	土	天皇誕生日	23	火	1歳6ヵ月児健診 (安田町保健センター) 13:00~13:30受付
24	日		24	水	
25	月		25	木	
26	火	小・中学校冬季休業	26	金	引き取り犬・猫収集日 大腸がん検診の容器配布
27	水		27	土	
28	木	村内保育終了	28	日	
29	金		29	月	↑ 大腸がん検診 (役場健康福祉課 8:30~17:00) 魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬支所 8:30~17:00) (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00
30	土		30	火	↓ の検体回収 (役場健康福祉課 8:30~10:00) (魚梁瀬支所 8:30~9:30)
31	日		31	水	

11月末の人口
世帯数 530世帯
男 618人
女 654人
計 1,272人
(馬路 957人)
(魚梁瀬 315人)

編集発行：馬路村教育委員会
住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443
TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010
E-mail adress umaji-v@edu.net-kochi.gr.jp
印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)